

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年10月7日

文部科学大臣殿

明海大学長
安井 利一 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	明海大学	②所在地:	埼玉県坂戸市けやき台1-1				
③課程名:	大学院歯学研究科博士課程 高度口腔臨床科学コース	④正規課程/履修 証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	平成25年4月1日		
⑥責任者:	学長 安井 利一	⑦定員:	18人	⑧期間:	4年間		
⑨申請する課程の 目的・概要:	歯科医療の知識・技術は、日進月歩で専門化が進んでいる。ゆえに21世紀の歯科医師像は、患者の多様な要求に応えるスペシャリストであると同時に、より高いレベルで包括的な医療計画を立て、実践できるジェネラリストが待望されている。こうしたニーズに対応するため、歯学研究科博士課程高度口腔臨床科学コースでは、主に「再生再建、機能発達、健康増進」に関連した科目を学び、徹底した臨床教育、研究指導を通じて、優れた臨床家を育成する高度な臨床知識・技能及び先端臨床研究の修得を図っている。さらに本学・朝日大学歯学部生涯研修部が開設する各種研修プログラム(以下「CE科目」という)の受講により、高度な専門的知識と技術を持つ総合臨床歯科医師の育成を図っている。						
⑩4テーマへの該 当の有無	無	⑪履修資格:	学校教育法第102条に規定する大学院に入学することができる者				
⑫対象とする職業 の種類:	歯科医師						
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 歯科医療に関する高度な臨床知識・技能	(得られる能力) 1 自主的な問題解決を目指した学術情報の収集・分析力 2 臨床歯科医師に必要な高度な研究能力及びその应用能力					
⑭教育課程:	主専攻科目(例:歯周病学Ⅰ～Ⅳ、計8単位)及び副専攻科目(例:口腔外科学Ⅰ・Ⅱ、計4単位)の履修により、専攻分野及び関連分野に関する歯科医師として必要な知識と技能を修得するとともに、臨床実習Ⅰ～Ⅳ(計16単位)では、実際の診療現場(明海大学歯学部付属病院)での実習を通じて高度な診療技術の修得を図っている。さらに、指定されたCE科目(様式1別添資料)の受講を通じて、経験豊富な学内外の講師による実践的な技術指導を受ける機会を設けている。						
⑮修了要件(修了 授業時数等):	所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。 ※所定の単位:共通教育科目8単位、主専攻科目の中から1科目を選択し講義8単位並びに臨床実習16単位以上(臨床実習Ⅰ～Ⅳは必修)、副専攻科目4単位選択し、総計36単位以上修得する。						
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	博士(歯学)						
⑰総授業時数:	120単位	⑱要件該当授 業時数:	112単位	該当 要件	3、4	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	93%
⑳成績評価の方法:	筆記試験、口頭試験、実技試験または研究報告により行うものとする。授業科目の成績は、優、良、可、不可の4種とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。						
㉑自己点検・評価 の方法:	実施組織:歯学部自己点検評価委員会(学部長、研究科長、病院長、教務部長、事務部長等の教学役職者から構成) 実施方法等:基礎データ・資料の収集及びその分析、報告書の執筆(日本高等教育評価機構の定める評価項目)を毎年実施しており、今後は本プログラムの認定要件等を評価項目に加え実施する。						
㉒修了者の状況に係る 効果検証の方法:	1 勤務先へのヒアリング・アンケート等の実施 2 実施結果の点検・評価及びその公表						
㉓企業等の意見を 取り入れる仕組 み:	(教育課程の編成) 教育課程の編成の検討・評価を行うための朝日大学との会議体を設置する (自己点検・評価) 朝日大学との会議体において、本学が行う自己点検評価結果についての報告及び評価を行う						
㉔社会人の受講し やすい工夫:	一般開業医や病院勤務歯科医、歯学分野の研究者および保健医療従事者などの社会人に対し、特定の時間又は時期における授業等を実施している。CE科目については、土日の開講を原則としている。さらには、社会人長期履修学生制度により、標準修業年限で履修が困難な学生については、最大7年間での計画的な履修を認めている。						
㉕ホームページ:	(URL) http://www.meikai.ac.jp/02dept/daigakuin/grad_dentistry.html						